

## 長距離自然歩道の概要について

### 1 目的

長距離自然歩道は、国土を縦断、横断又は循環し、多くの人々が四季を通じて手軽に楽しくかつ安全に国土の優れた風景地等を歩くことにより、沿線の豊かな自然環境や自然景観、さらには歴史や文化に触れ、国土や風土を再認識し、併せて自然保護に対する意識を高めることを目的としている。

これまで昭和45年度の東海自然歩道以降、九州、中国、四国、首都圏、東北、中部北陸、近畿と順次整備を進めてきており、現在整備を進めている北海道自然歩道を加えると、全国の長距離自然歩道の計画総延長距離は約2万6千kmに及ぶことになる。

### 2 事業概要

計画主体：環境省

整備主体：国立公園内 環境省（直轄事業）

国立公園外 都道府県及び市町村（交付金：45 / 100）

管理運営：国立公園内 環境省

国立公園外 都道府県及び市町村

事業内容：主な施設・・・歩道、橋、園地、休憩所、駐車場、公衆トイレ、標識など

### 3 交付金制度

#### （1）交付率

対象事業の45%を都道府県に一括交付

#### （2）交付対象事業

国立公園内は、歩道及び橋、園地、休憩所等の国立公園事業として実施するもの。

国立、国立公園外は、環境省自然環境局長の定める長距離自然歩道整備計画（平成15年3月31日以前に環境大臣が定めたものを含む。）に基づき行う事業。

### 4 長距離自然歩道の概要

名 称	整 備 期 間	関係都道府県	路線延長(km)	利用者数(H15)
東海自然歩道	昭和45～49年度	1都2府8県	1,697	656.8万人
九州自然歩道	50～55	7県	2,587	788.6万人
中国自然歩道	52～57	5県	2,072	347.3万人
四国自然歩道	56～平成元	4県	1,637	292.9万人
首都圏自然歩道	57～63	1都6県	1,665	661.9万人
東北自然歩道	平成2～8	6県	4,374	1,200.2万人
中部北陸自然歩道	7～12	8県	4,029	402.5万人
近畿自然歩道	9～15	2府7県	3,258	1,454.3万人
北海道自然歩道	15～24	北海道	4,585	
合 計			25,904	